

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：出前講座] [目標値：講座開催数 50回]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、まちづくり活動に関する情報の共有を図るために実施する事業であり、市民の要望により、担当課職員が市の事業を直接市民に説明します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	出前講座メニューを各課と協議し、4月に3講座のメニューの見直し、5月に1講座追加、7月に1講座廃止し、64講座とした。9月までの開催実績は26回であった。
	自己評価	開催数は目標値の半数に達し、講座参加者のアンケートでは、おおむね良好な感想であった。しかし、話し方や資料の作り方など改善すべき点も指摘されている。今後も分かりやすい講座となるよう努めたい。
	下半期への対応	講座参加者へのアンケート結果を今後の講座に活用し、より分かりやすいものとする。また、市民に興味を持ってもらえる講座となるよう講座内容の充実について実施担当課と協議・調整し、制度をPRする。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

出前講座開催回数は、順調である。今後、出前講座の効果を更に向上させるため、講座内容の事前打ち合わせや資料等の内容の確認を確実に実施すること。

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：パブリック・コメント]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、市民の声を広く聴く機会の充実を図るために実施する事業です。市民に計画案等を決定前に公表し、意見、情報を求め、その意見を参考に計画等を決定します。また、いただいた意見等に対する市の考え方を公表します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	3件のパブリック・コメントが実施され、計画案や実施結果をホームページに掲載した。
	自己評価	パブリック・コメントの実施予定を調査し、内容を把握した。パブリック・コメントの実施予定や実施結果について、市民に周知することができた。
	下半期への対応	策定が予定されている計画案等の把握に努め、担当課と協議・調整しながらパブリック・コメントを実施する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

パブリック・コメントの目的は、市民意見の聴取であることから、市の施策等の実施における参考意見としての位置づけを再度確認するとともに、市民への周知・広報方法等について、検討すること。

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：市長と語るふれあいトーク] [目標値：開催回数12回]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、市民の声を広く聴く機会の充実を図るために実施する事業です。市民、市民活動団体等と市長が、地域の課題、団体の活動、将来の鳥栖市について座談会形式で対談し、活動団体の活性化、市民の意見の収集に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	今年度は、市内で活動中の市民活動団体の方々や、主にまちづくり推進センターなどで活動するサークルの方々を対象とし、ふれあいトークを7回実施した。
	自己評価	上半期は、予定どおりの日程で実施することができた。市民活動団体やサークル活動の方々と意見交換が図られ、活動における課題や活動の意義など、より深い話が行われた。
	下半期への対応	下半期も、市民活動団体等とのふれあいトークを引き続き開催するとともに、これまでの実施内容をホームページに掲載し、市民が地域活動や市政への関心を持っていただけるよう広報したい。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

本年度のふれあいトークのテーマである、市民活動など市民が活躍する団体やサークルとの意見交換が順調に進められた。今後も、活発な意見交換ができるよう話の場の設定や団体等の連絡調整等に努めること。

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：市民提案箱、WEB提案箱] [目標値：提案件数 350件]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、市民の声を広く聴く機会の充実を図るために実施する事業です。市民からの意見、提案を行政運営に反映させるため、市民提案箱を26の公共施設等に設置、またホームページにWEB提案箱を設置し提案を受け付けます。寄せられた意見、要望については、関係各課に照会后、回答内容を把握します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	市民提案箱、WEB提案箱への提案件数は、9月末までで、85件。 要回答の提案は、各課に照会し、回答の報告を受け、その後、回答内容の疑義について所管課と詳細な対応方法等の確認を行い、対応可能な内容や考え方を一定整理するように努めた。
	自己評価	回答内容及び対応方法について、所管課と協議を行い、対応の可能性や取組み状況等を把握することにより、提案が所管課にとって重要な情報となるよう指導できた。
	下半期への対応	市民提案箱に寄せられた意見に適切に対応するために、提案内容の確認と現状の把握を行い、また、所管課との連携を図り、提案が意義あるものとなるよう、更に進めていく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

提案意見のあり方について、再確認ができた。

今後、更なる対応の充実のため、所管課との提案内容の整理、把握、改善等について相互の検討及び協議を充実させることで、よりよい事業となるよう努めること。

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：まちづくり推進協議会設立・運営支援] [目標値：設置数8地区]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、地域自治組織の構築を図るために実施する事業です。これからの市民協働のまちづくりの一翼を担うまちづくり推進協議会の円滑な運営を支援し、まちづくり推進協議会での活動を通じて、地域の連携を深め、地域の活性化を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	まちづくり推進協議会の運営及び活動支援のため、地域でのまちづくり活動に対する補助金を交付するとともに、事務局に市民協働推進課の職員を派遣した。また、弥生が丘地区のまちづくり推進協議会の設立（5月21日設立）にあたり、地域との連携に努めた。
	自己評価	まちづくり推進協議会の取組みを通して、地域におけるまちづくり活動の更なる充実や地域団体間での情報の共有が図られる等、地域の連携が徐々に深まりつつある。
	下半期への対応	まちづくり推進協議会への職員派遣を引き続き実施するほか、まちづくり推進協議会等と連携しながら、さらなるまち協の取り組みの充実に向けて支援を続ける。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

新たな弥生が丘まちづくり推進協議会が設立でき、順調な運営が図られている。  
 弥生が丘まち協の新設により、全校区での設置が果たされた。今後は、更なる発展のための、施策や事業の推進について、改めて、具体的に担当課としての関わり方を考えること。

下半期

## 市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

## 重点事業の概要 [事業名：市民活動支援事業]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、市民協働のまちづくりを進めるために実施する事業です。市民活動団体が自主的、主体的に行う公益的な事業に必要な経費の一部を補助し、市民活動の活性化及び自立化を促進します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	4月に公開プレゼンテーションを実施し、検討懇話会での協議を経て市民活動支援事業の採択を決定し、5団体に補助金を交付した。団体と市の関係各課との役割分担等を協議し協定書を締結するとともに、活動状況の把握に努めた。
	自己評価	応募が6団体であり、制度の活用が十分とはいえない。もっと活用しやすい事業内容への見直しの検討が必要である。また、団体と市の関係各課との意見交換を実施することで協働関係の推進に繋がってはいるが、更なる交流の機会に努めたい。
	下半期への対応	市民活動支援事業の活動状況の把握に努め、年度末に公開実績報告会を開催する。次年度事業の募集に向けての事業内容の見直しや広報のあり方を検討する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

## 所管部長（リープロ担当部長）の指示

## 上半期

事業開始から7年目となり、応募団体数の減少が課題である。  
事業内容を含めたあり方等を検証し、また、所期の目的を再確認するとともに、活用しやすい制度となるよう制度改正も視野に入れた検討に努めること。

## 下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：とす市民活動センター運営事業] [目標値：利用者数 15,000 人]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、市民協働のまちづくりを進めるために実施する事業です。市民相互や市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、とす市民活動センターが行う市民活動への参加啓発、市民活動団体育成等、様々な市民活動情報発信基地としての機能充実を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	市民活動センターの運営に対し補助金を交付し、活動状況等の把握に努めた。同センターの登録団体数は現在92団体で、4月から9月までの利用者総数は5,807人（前年同期比87%）であった。
	自己評価	とす市民活動センターの全体の利用者数及び相談件数ともに減少している。ただし、市民活動団体や企業等による延べ利用件数は346件と前年同期比40件増となっており、個人以外の団体等からの市民活動やボランティアに関する相談等の利用促進が図られた。
	下半期への対応	センターの活動の周知など広報に努め、さらに利用者を増やす工夫が必要である。そのため、市とセンターの連携を密にすることで、今後の活動内容等の充実を図る。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市民活動センターの設置目的の再確認を行い、また、運営主体との連携の充実を図ることで、市民活動団体の中間支援組織としての役割をセンターが果たせるよう、更なる具体的な対応方法の検討を行うこと。

下半期

## 市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

## 重点事業の概要 [事業名：まちづくり推進センター運営事業]

○この事業は、リープロ3「みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組みで、地域の交流拠点であるまちづくり推進センターを活性化するため、地域の団体や住民との連携及びセンター事業の充実を図るほか、利用者が快適に利用できる環境を整えるため、施設の維持管理に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	各まちづくり推進センターで行う各種講座や教室等の学習情報(年間)を、各まちづくり推進センターだよりや市ホームページ、まちづくり推進センター活用ガイドブック等で市民に提供した。また、地域団体やサークル活動団体の活動拠点として施設の貸し出しを行った。
	自己評価	各種講座や教室等については、地域のニーズ把握等に努め、多様な年代を対象とした内容とすることができた。
	下半期への対応	各種講座や教室等のセンター事業を計画どおりに実施する。利用者が施設を安心して利用できるよう、施設の維持管理に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

## 所管部長（リープロ担当部長）の指示

## 上半期

台風や天候不良等の影響もあり、まちづくり推進センターの施設について、整備及び改善が必要な箇所も散見された。市民の皆様が集う施設として安心安全に利用できるよう、不断の管理、監視等を更に行い、対応に努めること。

## 下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：男女共同参画啓発事業] [目標値：講座等の参加者数 1,000 人]

○この事業は、リープロ10「自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト」に位置付けられた取組みで、男女共同参画意識を育てるために実施する事業です。性別によって男女の生き方や役割を分ける固定的役割分担意識を解消し、互いに理解しあい尊重する意識を高めるため、男女共同参画啓発活動を推進し学習機会の充実を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	市報による男女共同参画の啓発、図書館での広報・啓発を実施した。毎月最初の出勤日を男女共同参画推進デーとして、市役所職員に対しても啓発を行った。また、下半期に開催予定の男女共同参画フォーラムやセミナー等の実施に向けて、実行委員会で協議を重ねた。
	自己評価	フォーラムをはじめ啓発事業の開催に向けた準備は順調に進んでいる。上半期に行ったセミナー等の参加者は昨年度と比較すると増加している。
	下半期への対応	とす男女共同参画市民実行委員会等と協働で、10月に女性の再就職支援セミナー、11・12月に女性のための政策参画セミナー、12月にデートDVセミナー、来年1月に男女共同参画フォーラムを開催する予定である。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市民実行委員会等との協議を精力的に行い、市民啓発事業を進めている。  
下半期に開催される各セミナーやフォーラムの参加者が増えるよう、一層の広報と周知に努めること。

下半期

## 市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

## 重点事業の概要 [事業名：DV防止と被害者支援事業]

○この事業は、リープロ10「自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト」に位置付けられた取組みで、男女共同参画意識を育てるために実施する事業です。DVやセクハラ等は犯罪であり人権を侵害する行為であるという理解を深め、その発生を防止するために意識啓発、被害者支援を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	こども育成課と連携して女性総合相談を実施している。DV被害者からの相談を受け、関係機関につないだ。また、子どもへの虐待防止プログラムによるセミナーを開催した。
	自己評価	庁外の関係会議や研修会等に積極的に出席し、関係機関との連携を深めるとともに情報の共有を図ることができた。セミナーの参加者は微減（前年度比△8名）したが、昨年度と比べ、子育て世代の方の参加が多かった
	下半期への対応	女性に対する暴力をなくす運動期間に伴い、特集記事を市報に掲載する。12月にとす男女共同参画市民実行委員会と協働で、中学生を対象としたデートDVセミナーを開催する予定である。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

## 所管部長（リープロ担当部長）の指示

## 上半期

DV被害者からの相談に適切に対応できた。

今後も、相談しやすい雰囲気と適切な対応を図り、また、啓発活動の充実に努めること。

## 下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：審議会等への女性の参加促進事業]

[目標値：女性委員の比率 40.0% 女性人材リスト登録者数 45人]

○この事業は、リープロ10「自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト」に位置付けられた取組みで、男女がともに歩むまちづくりの取組を進めるために実施する事業です。市の政策立案等に一定の影響を及ぼす審議会や委員会等へ女性の参画を図るため、数値目標を設定し、女性委員の登用を積極的に進めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	ホームページで、女性人材リストの広報・募集を行うとともに審議会や委員会に占める女性委員の登用状況を公表した。女性委員の比率が40%未満の審議会等の担当部署に、女性委員の積極的登用を呼びかけた。
	自己評価	平成26年度末の女性委員の比率は34.7%（前年度比+0.2%）、女性人材リスト登録者数23名（前年度比+1名）となった。今後も目標値達成に向けて一層努力したい。
	下半期への対応	11月の女性のための政策参画セミナーや、来年1月に開催する男女共同参画フォーラムやなどで女性人材リストの広報・募集を行い、人材リスト登録者には各種セミナーやフォーラムの情報を提供する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

女性委員比率及び人材リスト登録者数が増加している。  
今後も、市民への啓発を含め、庁内での対応・周知の強化に努めること。

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：多文化共生推進事業]

[目標値：国際理解に関する催しの回数 1回以上/年、語学ボランティア登録者数 25人]

○この事業は、リープロ10「自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト」に位置付けられた取組みで、多文化共生のまちづくりをすすめるために実施する事業です。在住外国人のため、日常生活における必要な情報の多言語化に努めます。また、異なる文化や生活習慣を理解するための講座や教室等を開催し、外国人との多様な交流の場・機会の提供を図り、国際理解の推進に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖市地震防災マップや佐賀県生活ガイドリーフレットなど英語による情報を、市役所や市民活動センターで配布し、ホームページでやさしい日本語による外国人住民向けの生活情報を提供した。外国人との交流教室を実施するために、国際交流関係団体との懇談会を行った。 また、語学ボランティアを再募集し、21人（前年度比2人増）となった。
	自己評価	外国人住民に対し、より広く情報提供を行うことができた。また、小学校への語学支援、情報の多言語化に関し、語学ボランティアの活用を図ることができた。
	下半期への対応	基本方針に基づき、外国人住民に関する生活情報の収集と提供に努めるとともに、外国人との交流教室を開催する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

多文化共生の考え方の周知・広報やその具体的取組みについて積極的に推進できた。  
今後も、増加が見込まれる外国人の安心安全な生活の確保のための情報発信等の取組みを進めること

下半期

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

重点事業の概要 [事業名：友好都市交流事業]

○この事業は、リープロ10「自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト」に位置付けられた取組みで、国際性を育む地域づくりを推進するために実施する事業です。ドイツ国ツァイツ市との友好都市交流を通して、市民の異文化への理解と国際性を育み、両市の友好関係を深めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	7月26日から8月10日までの日程で、市内の中高生10名と引率者2名をドイツ連邦共和国ツァイツ市に派遣し、ホームステイにて日常生活を体験し交流を行った。また、9月19日・20日の九州まん祭で、子ども交流事業のパネル展及び今年派遣した市内の中高生による体験発表を実施した。
	自己評価	交流事業参加者は、約2週間のホームステイにより外国の文化や習慣の違いなどを身近に体験し、両市の友好関係を深めることができた。
	下半期への対応	10月22日～26日にツァイツ市公式訪問団が来日されるための準備を行う。鳥栖・ツァイツ子ども交流事業は、隔年ごとに双方の都市を訪問することになっている。来年度はツァイツ市が鳥栖市を訪問する年となるので、その準備を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

交流事業が無事に、また、有意義な事業として終えることができた。  
今後の公式訪問団関係と来年の交流事業準備を滞りないよう進めること。

下半期